



SS 研 システム技術分科会

2007 年度 第 2 回会合 プログラム

テーマ：サーバの仮想化とその利用法

- 日 時：2008 年 1 月 30 日(水) 13:30 ~19:30 [13:00 受付開始]
- 会 場：富士通(株) 芝公園オフィス 8 階 Room15, 16 [東京都港区芝公園 4-1-4]
- 参加対象：本会合は、SS 研, CS 研, IS 研会員の皆さまにご参加いただけます。
- 定 員：100 名(予定)

■ ■ プログラム ■ ■

開会挨拶	岡村 耕二 (九州大学情報基盤研究開発センター)	13:30~13:40
司会 牧野 晋 (麗澤大学)		
(1) サーバの仮想化とは？	富士通株式会社 松本 一志	13:40~15:20 報告:80 分 Q&A:20 分
<p>仮想化技術の歴史は古く、その基本的な機能はメインフレーム時代に総て登場している。最初は仮想マシンをソフトウェアで実現していたものの、効率的にも性能的にも問題があるため、ハードアシスト機能が必要となり、ハードとソフトが連携した製品が登場する流れは、現在の IA サーバでも全く同じである。</p> <p>本報告では、仮想マシンの歴史や現在、市場にある仮想化システムのプラットフォーム毎の特徴やサーバとストレージの仮想化分類と現在のストレージ技術が総て活かせる技術としての仮想化技術を解説する。さらにこれを実現するための Xen での富士通の取り組みを紹介する。</p>		
(2) 仮想化技術の現状と方向性	産業技術総合研究所 須崎 有康	
<p>現在、盛んに開発が進められている仮想化技術について Xen, KVM などの個々の仮想化ソフトウェアの実装技術や CPU に付加された仮想化対応機能などの現状を紹介する。また、仮想化技術が新たに開拓するセキュリティ、組み込み、OS マイグレーションの新しい利用についても取り上げ、今後の仮想化の方向性を紹介する。</p>		
休憩		15:20~15:50
司会 藤田直行 (宇宙航空研究開発機構)		
(3) 溢れるサーバを減らすために - 農林水産研究基盤への仮想化適用事例 -	農林水産技術会議事務局筑波事務所 江口 尚	15:50~16:40 報告:40 分 Q&A:10 分
<p>当所では、約1万人の利用者に科学技術計算、Internet サービス、DB、図書館などの多様な研究支援のサービスを行っている。システムの安定運用には、機能別のサーバ構築と冗長化が不可欠であるが、溢れるようなサーバ台数では管理負荷を増大させるばかりである。</p> <p>一方で、近年の IA サーバの処理能力が向上している割に負荷が少なく処理能力に余裕がでてきている。そのため当所では、早い段階から仮想化によるサーバ集約に着目し、実機、仮想化の両方を組み合わせたシステム運用を行ってきた。</p> <p>当所の幾つかの事例をもとに仮想化の利点と課題について本報告で紹介する。</p>		
(4) 3 キャンパス 40 台のサーバを 1 キャンパス 12 台に集約 - サーバ統合への計算機仮想化技術適用事例 -	東京電機大学総合メディアセンター 橋本 明人	16:40~17:30 報告:40 分 Q&A:10 分
<p>TCO 削減は常に重要な命題である。サーバの台数・設置環境は TCO に対し大きな影響を及ぼす。要求されるサービスの増加および、冗長構成によるサーバ多重化によりサーバ数は増加の一途をたどる傾向にある。サーバ仮想化技術をこれらの環境に適用することにより物理サーバの削減が行えると考え、東京電機大学では VMware ESX サーバを用いた約 40 機のサーバを 12 機に削減することに成功した。</p> <p>本稿では、あまり実例のなかったサーバ仮想化技術導入までの道のりからその移行手段、そしてサーバ仮想化技術の実用性について実例を交え紹介を行う。</p>		
閉会挨拶	岡村 耕二 (九州大学情報基盤研究開発センター)	17:30~17:40
懇親会(ワンコインパーティ) <デモ展示>	会費:¥500 # お飲み物と乾き物のみご用意した、簡易的なパーティです。	18:00~19:30

会場へのアクセス

★芝公園オフィス 1階エレベータ(低層用/高層用ともに)にて、直接8階 Room15, 16 前の「SS 研受付」にお越しください。

●電車でのアクセス

- ・東京メトロ日比谷線「神谷町駅」1 番出口より徒歩 6 分
- ・都営地下鉄大江戸線「赤羽橋駅」中之橋口より徒歩 9 分
- ・都営地下鉄三田線「御成門駅」A1 出口より徒歩 10 分
- ・都営浅草線「大門駅」A6 出口より徒歩 15 分

お勧めコース

羽田空港→(モルレル)→浜松町→(徒歩)→地下鉄大江戸線大門駅→赤羽橋駅
東京駅→浜松町→(徒歩)→地下鉄大江戸線大門駅→赤羽橋駅



【お問い合わせ】 SS 研究会事務局

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター (財)情報処理教育研修助成財団内

TEL:03-6252-2582 FAX:03-6252-2934 URL:<http://www.sskn.gr.jp/> E-mail:ssken@ssken.gr.jp